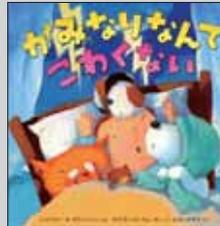


新刊案内



「おいしいものつくろう」

岸田 衿子/さく
白根 美代子/え

「かみなりなんてこわくない」

ジェイミー・A・スウェンソン/さく
デイヴィッド・ウォーカー/え

とらわれない生き方 ----- ヤマザキマリ
 医学探偵の歴史事件簿 ----- 小長谷 正明
 「ストーカー」は何を考えているか ----- 小早川 明子
 加工食品には秘密がある --- メラニー・ウォーナー

おいしい暮らし歳時記 □福だより --- 広田千悦子
 評伝バルテュス ----- クロード・ロウ
 最後の英語やり直し! ----- 勝間和代
 曲り角のその先に ----- 村岡花子



「氷点」50周年

三浦綾子の代表作「氷点」が新聞連載の小説として世に出たから50年になります。前年の1963年に募集された朝日新聞の懸賞小説に入選した作品です。賞金が当時としては破格の1千万円であったことや、「既成作家を含む」という応募規定でありながら、作者が北海道で雑貨店を営む無名の主婦であったことから大きな話題となりました。

森下辰衛「氷点解凍」。旭川市にある三浦綾子記念文学館特別研究員の著者が2011年から翌年にかけて行った12回の講演を基にした評論集です。登場人物の考えや人物造形、役割について掘り下げ、聖書の物語を強く意識しているエピソードなどを紹介し、作品のテーマである「原罪」や、作者が物語を通して訴えたかったことについて考察しています。

三浦綾子「ごめんなさいとクネ」。単行本未収録のエッセイ41編を収めた新刊です。「氷点」にまつわるものをまとめた第1章と「泥流地帯」をはじめとする他の作品や短歌のことをつづった第2章のほか、執筆当時の夫である光世の日記とインタビューも収録され「氷点」原稿完成までの経緯や懸賞小説発表までの三浦夫婦の生活や心境がうかがえます。

図書館には、小説を14巻、エッセイを6巻にまとめた『三浦綾子全集』があります。「氷点」は第1巻、「続氷点」は第4巻に収録されていますのでぜひご利用ください。

7月の休館日

7日(月)、14日(月)、25日(金)、28日(月)

開館時間

火～金曜日 午前10時～午後7時

土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時

図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

飯田治代氏を講師に「読み聞かせ講座」(全4回)を開催します。希望する方は図書館まで申し込みください。

■期日 7月3日・10日・24日・31日(いずれも木曜日)

■時間 午後2時～4時

■場所 文化プラザ

■定員 30人 ※参加費無料(都合のつく回のみ参加可)